

HIGASHISAGA  
HOSPITAL

独立行政法人国立病院機構東佐賀病院 広報誌

2010 冬季号  
Vol. 26

## 【発行所】

佐賀県三養基郡みやき町  
大字原古賀7324独立行政法人  
国立病院機構 東佐賀病院

## 【編集発行】広報委員会

## 《基本理念》

信頼関係を大切にし、  
地域に根ざした  
良質な医療を提供します。



白石神社(みやき町)

## ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

平成22年がスタートしましたが、皆様よい年を迎える事を願っています。

年明け早々ですので、世知半い記はやめてあきまして、明るい記題を3つ用意しました。

まず一つ目は、心配をかけています、副院長です。

今年4月1日付で副院長を迎える運びとなりました。これまで診療部長、内科部長、医局長等ご苦労をかけましたが、これで病院としての本末の休裁を整えることが出来、病院運営がより円滑になるものと期待しています。

2点目は、これも4月1日付ですが、医師3名、薬剤師1名、ST(言語聴覚士)2名の増員院長 貞松 篤 がほぼ確定しました。この時期医師の確保は非常に困難で、当院も医療法上医師と薬剤師の欠員の状態でした。このため運営方針としていました、地域医療支援病院の施設基準が取得できませんでした。今回の増員でこの問題は解消され、STと合わせ診療機能の更なる充実が期待できます。

最後に病棟新築ですが、今年の夏を目途に着工したいと考えています。

新病棟のコンセプトは「患者目線に立った病棟」です。言うまでもなく医療を提供するのは病棟ではなく、そこで働く我々職員です。患者目線に立った医療を提供できるよう更に努めなければならぬと考えます。

今年も昨年と同様に医療事故・院内感染の無い年にしなければなりません、今年一年皆様方のご協力をよろしくお願いします。

## 目 次

\*題字「ひがしさが」 平野 長熙 名誉院長 書

- ごあいさつ ..... 1
- 新年にあたり/新年を迎えて/今年の抱負/今年の抱負 ..... 2
- 実習指導者養成講習会に参加して/がん看護の実務研修を終えて ..... 3
- 看護教育委員会からの研修報告です ..... 4・5
- 第63回国立病院総合医学会でポスター賞を頂きました ..... 5
- 地域医療研修センターの利用について ..... 6

- 職場紹介 ..... 6
- 連携室トピックス ..... 7
- 医事統計 ..... 8
- 外来診療担当医表 ..... 9
- 人事異動 ..... 10
- ホームページリニューアルについて ..... 10
- 病院アクセスマップ ..... 10



## 新年にあたり

主任栄養士 佐藤 幸子

病院職員になり、早いもので、30数年経つてしまいました。今年、平成22年で?回目の年になります。年末年始も、日直勤務体制の中で、今年の正月も例年と同じく、目をぐるしく終わってしまいました。さて、今年は、コンピュータ更新の年であり、栄養士は、新機種に向け、現機種導入時の5年前のような慌ただしい作業を、昨年の秋頃より、行っているところです。今回は、全

く別会社による、新システムなので、食品コード等、基本の部分から、全て変更しないといけないシステムなので、3月のスタートに向け、年明けも、その調整に追われています。又、病棟とのオーダーリングに関しては、新システムにより、5年前の導入時は、慣れるまでの最初の半年程はトラブルが続いたので、今回も、又、何らかのトラブルは、避けられないだろうと今から、心配しています。いずれにせよ、今年はそういう意味でも多忙な1年になりつつあるので、娘達の世代の同僚と共に、老体に鞭打って頑張って行きたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。



## 新年を迎えて

理学療法士 井形 勉

明けましておめでとうございます！

私は、平成20年4月に東佐賀病院に着任し、2年が過ぎようとしています。早いもので、4回目の寅年を迎えます。思い起こせば、昭和59年に国立療養所筑後病院に入職し25年が経ります。（ちなみに、東佐賀で採用になった富永PTと同期になります）筑後病院時代パレーボールの監督、野球の選手としてよく東佐賀病院と交流戦をしていま

した。何度か体育館、北茂安のグラウンドにお邪魔しました。旧年中は、新型インフルエンザ、病休者などでご迷惑をおかけしました。新年度は、個人的に心身を鍛え（少しスリムになって）健康第一に頑張って行こうと思います。リハビリテーション科としては、来年度から言語療法部門を新設し、重症心身障害児（者）の摂食・嚥下訓練、呼吸器、一般病棟の誤嚥性肺炎を繰り返す方への嚥下訓練、脳血管疾患の方の言語訓練を開始するようになります。ただいま準備中乞ご期待下さい。更なる患者サービス向上を目指してスタッフ一同頑張って行こうと思います。ご協力お願いします。



## 今年の抱負

11病棟 樋口 昌宏

明けましておめでとうございます。今年の年男ということで、ご挨拶させていただきます。まだまだ、若いと思っていましたが時間が経つのは早いと思う今日この頃です。

まず、私の昨年振り返ると、充実した年だったと思い

ます。6月と7月の2ヶ月間は実習指導者講習会に行かせていただきました。そこでは実習指導者としての役割、学生への指導方法などたくさんの事を学ばせていただいた貴重な時間でした。その他にも多くの学びや出会いがあり、多くの同僚や後輩ができ充実していく一年でした。

今年は更に充実できるよう今まで以上に何事にも積極的に行動していきたいと思っています。どうぞこれからもよろしくお願いします。



## 今年の抱負

薬剤科 北崎 恵未

昨年の始まりは、3月に国試に大学の卒業、4月からこの東佐賀病院での勤務と、慌ただしいものでした。国試から卒業までの時間があまりなく、友人達とはあまり交流できないまま佐賀の地に来てため、初めてのうちは寂しさで一杯でしたが、ようやく新しい生活に慣れてくれました。

新人1年目は、先輩方に様々な迷惑をおかけしながら、とりあえず、駆け足で1日1日を過ごしていました。1年となりました。2年目は少しでも成長できるよう、色々なことを勉強しながら身に着けていきたいと思います。

12年という年月は意外と早いものです。こんなに早く過ぎてくるとは、思っていませんでした。毎日を無駄にしないよう、12年後に後悔することだけはないように、これから先は良く考えて頑張っていきたいと思います。今年も何事とご迷惑をおかけするかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 実習指導者養成講習会に参加して

3病棟  
永田 歩

実習指導者養成講習会 研修場所：九州医療センター  
研修期間：平成21年8月20日～10月16日



研修に参加して、実習指導に必要な知識・教育方法や青年心理等を学び、日本の教育制度や地域社会での子どもの教育にも興味を持つことができ、自分自身の視野が広がり、実習指導者としての学び以上に、とても大きな収穫となりました。

私は今まで教育にはあまり関心がなく、堅苦しいものだと感じていました。しかし、2ヶ月間「教育とは」について学び、考えることで、教えることや伝えることの大切さを知り、『教えが伝わりつながっていく』という教育の素晴らしさを感じる事ができました。

学びたくても学校に行けない子ども達やまだ歩くこともできないうらから過剰な親の期待を背負った子ども等、国の教育制度や環境に振り回される子ども達の存在を知り、振り回されながらも一生懸命頑張っている子どもたちが愛あしく、そのような環境の中で頑張っている現代の学生さん達を理解して関わっていかなくてはならないと思っています。

今の私にできる事は、まず語ること。実際に来る後輩たちに看護の素晴らしさ、喜びを言葉にしてたくさん語り、感じてもらい、看護の世界に今よりたくさんの興味を持ってほしいと考えています。それが少しでも学生の心に残れば、それは素晴らしいことであり、「教育」になるのだと思います。

今回この研修を受けた事で、教育の素晴らしさを学び、学べる喜び、研修を受けられる有難さを強く感じました。この貴重な学びの機会を与えて下さったことに感謝します。

## がん看護の実務研修を終えて

3病棟 永田 麻里

平成21年度 佐賀県  
がん看護の実務研修 研修場所：佐賀県立病院 好生館  
研修期間：平成21年10月13日～12月18日(10月11日～11月23日を除く)



がん看護の研修では、がんに関する講義（疾患・治療・看護について）を9日間受講し、がんに対する基礎知識を学びました。実務研修では、病棟で一人の患者を担当して週間の実習を行いました。

がん看護に関する各専門領域の実習では、薬剤師・認定看護師・MSW等による講義と見学実習を行い、看護の振り返りができました。

ターミナル期にある患者を観る看護師は知識・技術不足を感じ、ストレスを感じながらケアを行っていることが多いといわれています。当病棟でもターミナル期にある患者は少なくなく、日々のケアや関わりの中で「本当はこれでよかったのだろうか」と考えることがあります。急性期の患者も一緒に担当するが多く、関わりやケアが十分でないと感じることが多くありました。全人的なアプローチの視点で振り返りを行うことで情報が足りなかった部分や、介入すべき視点が見つかりやすいという事を学べました。

各病棟での実務研修では、通常の業務とは異なり一人の患者を担当し、しっかりと関わり看護提供が行えました。研修生間でもカウンタレンスの時間を設け事例や学びを共有しました。研修最終日にはケースレポート発表をあこない、一人の患者に対するケアの振り返りと、患者・家族の心理的変化を考える機会となりました。

スタッフ間でも学びの共有と、がん看護における看護師の役割を再確認し、看護の実践モデルとなるよう今後も学びを深めていきたいと思います。

# 看護教育委員会からの研修報告です

## 命に直結するスペシャリストを目指して ～呼吸器コース～

教育委員長 穴井 美香

当院の特徴として、重症心身障害児(者)肺結核、小児の気管支喘息など呼吸器管理を行なう事が多い。教育の根底に一人ひとりの看護職員に「学びたい・自己を高めたい」と、自ら学習を希望する職員を目指す教育プログラムを立てている。そのひとつである呼吸器コースは、研修期間を1年から2年と延長し、より専門性を高めるために内容を充実させた。研究的視点で看護を実践する推進役となることを目標としている。



看護師の看護・技術・人間性が人を変えていく。学習者としての自己概念が依存的パーソナリティから脱皮し自己管理性を高めることを目指して看護教育全体を考えていきたい。

## 呼吸器ケアコース研究発表会

看護教育委員会呼吸器ケア担当 執行 由美

平成21年12月18日(金)地域医療研修センターにて、呼吸器ケアコースの研究発表会を行いました。看護問題を何故問題なのかを検証し、論理的に説明でき根拠を持って看護ができる事を目指しての研修企画です。病態生理・呼吸器疾患・検査データ等については、知識テストで確認後次のステップへ進めることとしました。

技術の習得においては、正確さを確認する為に、呼吸療法士の資格を持った看護師や臨床工学士の知識を活用し、呼吸理学療法や人工呼吸器の取り扱い・人工呼吸器装着中の看護の講義・デモストを通して評価を行ってきました。

発表会では、病棟での看護上の問題に着目し、研究的に進めていき、今回の発表に至りました。発表は、パワーポイントを使用して行い、適切な緊張感のある雰囲気の中で行われました。

発表の中身は「検痰採取時の患者指導に関する看護師の指導方法の改善」「人工呼吸器に関する看護師の意識調査」「呼吸器患者の効果的な自己排痰について」「アンピュ バックを用いた排痰ケア」「人工呼吸器肺炎(VAP)を予防するために」でした。

根拠を踏まえたケアを行うことで看護の質の向上につながること・研修での修得した知識を病棟に還元することでスタッフの意識・技術の向上に繋がったことなどが発表され、有意義な発表会となりました。一年目は、研修内容に対して先の見えない不安があり、消極的な研修生が多く企画担当としては心痛みました。二年目は実践の部分が多くなったのが積極的に研修に参加されるという行動変容がみられました。

まだまだ未成熟ですが、地域の皆様にご案内出来るような発表会にしていきたいと考えています。地域の皆様と共に成長でき、病院の理念に沿った研修の企画・運営をめざして。

今年度の呼吸器コース研修修了者は以下の皆さんです。

- 1 病棟／花田輝子さん 2 病棟／深堀恵美さん 3 病棟／池田由美子、江頭悦子さん
- 12 病棟／小郡正之さん 13 病棟／牟田良由美さん

## 呼吸器コース研修を終えて

研修生3病棟 池田 由美子

私は、平成20年3月から現在の外科・呼吸器内科病棟に勤務しています。これまでに呼吸器科病棟の勤務経験が無く、呼吸器疾患の患者様の看護を行う上で必要な疾患の理解や病態生理、各呼吸療法及び人工呼吸器などの医療機器について知識と技術が必要と考え、この呼吸器コース研修を受けようと思いました。

研修に参加して第一に思った事は、呼吸器はなかなか難しいということでした。解剖生理から病態・治療方法及び看護、そして理解の確認と次に進むためのステップとしての筆記テストと実技テスト。及第点を取るために試験勉強に励み、まるで学生に戻ったような気分でした。50歳代の私にとっては若い時のようにはいかず、記憶するのにも時間がかかり結構大変でした。そして講義とテストが終わる頃にはこの研修の集大成として、調査研究に取り組みました。

私にとってこの研修は体力の限界と睡魔との闘いの日々でしたが、今まで気づかなかつた自分自身を見直すことができたということです。このような機会をいただけたことに感謝し、お礼申し上げます。



## 第63回国立病院総合医学会 でポスター賞を頂きました。

平成21年10月23・24日  
宮城県仙台市開催

手術室・中材 内野 由紀子

【褥瘡・NST・栄養-9】のセッションで、術中操作による体圧やズレ力の推移を観察し褥瘡予防に着目した報告が、当該セッション演題8題の中から座長が選ぶベストポスター賞（学会の発展に貢献しうる優秀な演題として）を頂いてしまいました。（1GBのUSB：キャラクター伊達めぐみ丸：写真1）

更にデータを蓄積し、術中の患者の安楽・安全を期する取り組



みに向け努力してください」とのコメントも、加えて頂きましたので今回の学会発表で完了とは言えなくなってしまい、面映い気持ちになってしまいました。その後、同会場で別の発表をしていた横田看護師長と合流し二人仲良く、仙台の牛タンと地ビールでお疲れ様会をしてほろ酔い気分で仙台を発らました。





## 地域医療研修センターの利用について

管理課 木本 伸彦

平成21年6月1日から運用を開始し7ヶ月。おかげさまで病院内外の方からの利用申込も増えてきてあります。

開催した研修・講習会のいくつかをあげてみます。

院内職員の研修及び院外から講師をお招きしての研修（講演）では、

- 院内講演

- 感染症について／薬について／救急対応／口腔ケア／腰痛法

- 『個人情報保護研修』受講者からの伝達講習

- 糖尿病公開講座

- 接遇研修（講師：患者サービスコーディネーター）

- 医療安全管理研修「診療録に関する講演」（講師：弁護士）

院外者の方のご利用では

- 予防薬と新型インフルエンザに関する研修会（薬剤師会）

- 特別支援教育に関する研修会、講演（養護学校）

本センターは医療従事者の方であれば利用者の職種は問いません。

病院の職員をはじめ地域住民の皆様、及び医療機関の皆様、どうぞ当研修センターを医療コミュニケーションの場としてご利用下さい。

また、前記のとおり、病院研修で院外の方も聴講いただける機会は、本院ホームページにも事前にあ知らせするようにいたします。



申し込み・お問い合わせ先

東佐賀病院管理課庶務係

**0942-94-2048**

(内線333 又は219)



## 12病棟の紹介

看護師長 横田 研治



12病棟は、昭和44年に開設した東佐賀病院最初の重症心身障害児・名病棟です。

建物は古いですが、リニューアルを重ね、広い居住空間、中庭での日光浴・外気浴、夏は水遊びや花火、ブレイルーム横の花壇を使った園芸療法など、季節の変化に富んだ暮らしやすい環境を提供しています。

患者さんは、4歳から62歳まで幅広く入院しています。平均年齢は38歳になりますが、「障がいはあるけど病気じゃない」をもっとうに、自分の夢に向かって毎日懸命に生きています。また、学齢児もたくさんいます。小学部が4名、中学部が2名、高等部が2名と、8名の方が学校教育を受けています。障害が重くて学校の校舎へ通えない人は、訪問授業という形での勉強となります。病棟のブレイルームを使った合同授業の時はみんなが集まってとても賑やかです。病棟の雰囲気を楽しいものにしています。



スタッフも幅広い年齢の方が勤務していますが、年齢の幅よりも病棟に関係する職種の多様さが特色です。医師、看護師、看護助手、コメディカルスタッフは医療施設の基本ですが、児童指導員、保育士といった福祉職もいます。それに、教育職の学校の先生たちが関わり、ボランティアも入ってきます。多くの人たちが、患者さんの幸せのために協力して関わっている病棟です。

# 連携室トピック入

Vol.9 2009.12

発行元: 東佐賀病院 地域医療連携室

TEL・FAX: 0942-94-3748(普通)

松本(内線692) 高口(内線606)

柴田(内線648) 毎熊(内線630)

## 地域医療連携室長(富永 薫) 診療部長(小児科)就任挨拶



この度、12月1日付けをもちまして前任の貞松地域医療連携室長(現院長)から引き継いで新たに室長に任命されました。また前月11月1日付で診療部長を拝命したばかりで更なる重役を担うことになり、身の引き締まる思いであります。

当院の地域医療連携室は貞松院長の努力により平成14年に誕生し、平成17年4月には開放型病床を5床開設し、現在、開放型登録医は54名の登録を頂いております。さらに平成21年5月1日には地域医療研修センターを設立し、色々な職種を対象とした研修会や症例検討会、講演会などが催され好評を得ております。

私は小児科医で160床の重症心身障害児(者)の診療や療育を行っておりましたが、入院に関しましては連携スタッフの一人である中武在宅支援担当(指導室長)が窓口となっておりるので、ご紹介の程よろしくお願い申し上げます。前任の貞松院長の方針を守り、更なる充実に向けて努力したいと存じます。

## 好評!院内講演について報告

地域医療連携室では、地域住民・地域医療関係者の方々が病気を理解し、健康の維持、また健康増進できるように講演会を実施しています。12月も院内講演がありましたので、概況を報告いたします。

### 『腰痛症について』 講師: 大浦運動療法主任

12月2日(水) 地域医療研修センターにおいて院外3名、院内1名の参加を頂き講演を行いました。腰痛の仕組みについてスライドを使った講義を行い、実践では会場にベッドを準備してリハビリテーション科の学生の協力を得て、モデル参加してもらい腰痛体操を行いました。今回、受講者が少なかった事もあり、その分、少人数による講義となつたため1人1人に詳しく分かりやすい講義を行うことができました。受講者からも椅子に座ったまま行える腰痛体操について質問を受けるなど、内容の充実した講演となりました。



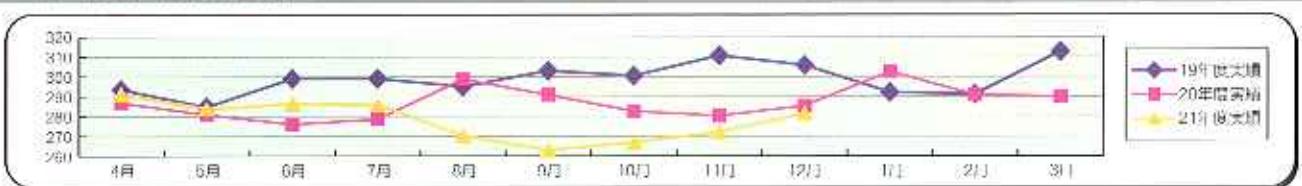
★ 今後もトピックスにて様々な情報を報告してまいります。

★ 皆様からの講演のご依頼をお待ちしております。

## 医事統計

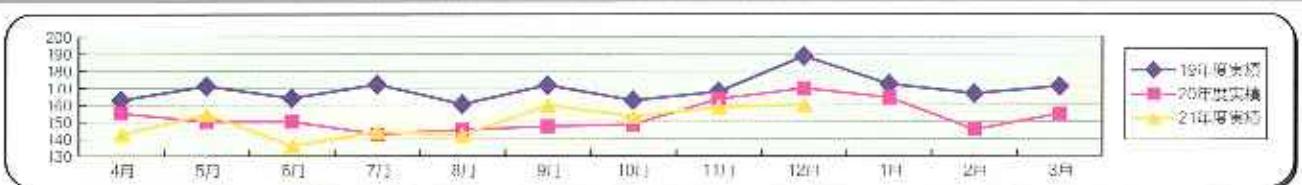
経営企画室

## 1日平均入院患者数



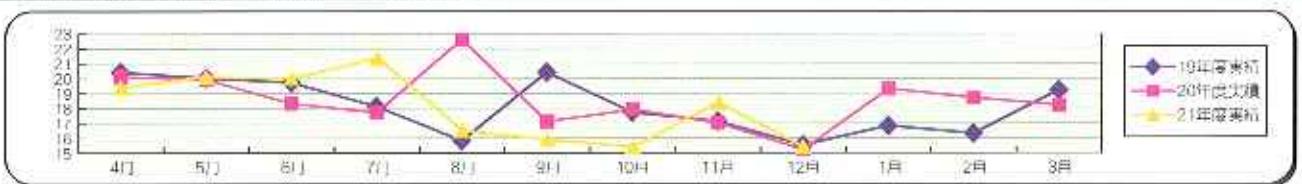
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
19年度実績	293.2	284.4	298.8	298.8	294.8	302.8	300.3	310.5	305.6	292.0	291.1	312.6	298.8
20年度実績	286.6	280.7	275.8	278.5	298.6	290.8	282.5	280.2	285.3	302.5	290.9	289.9	286.9
21年度実績	291.1	283.7	286.5	285.9	270.5	263.2	267.1	272.3	281.7				

## 1日平均外来患者数



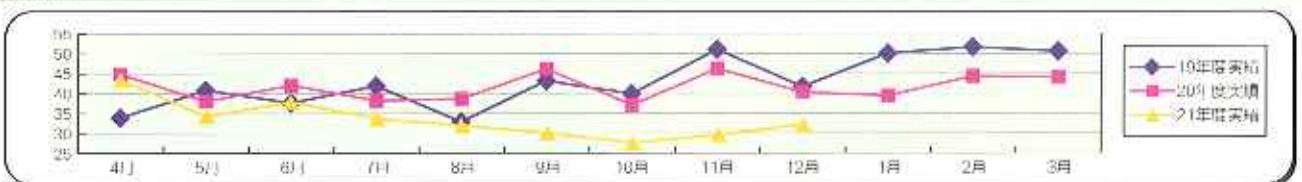
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
19年度実績	162.5	170.8	163.7	171.8	160.2	171.4	162.4	167.5	188.4	172.0	166.5	170.7	168.8
20年度実績	154.9	150.1	150.1	142.6	145.2	147.3	148.4	163.4	169.6	164.2	145.4	154.8	153.0
21年度実績	142.8	154.6	136.0	144.4	142.3	160.1	153.2	158.8	160.3				

## 平均在院日数【一般病床(重心を除く)】



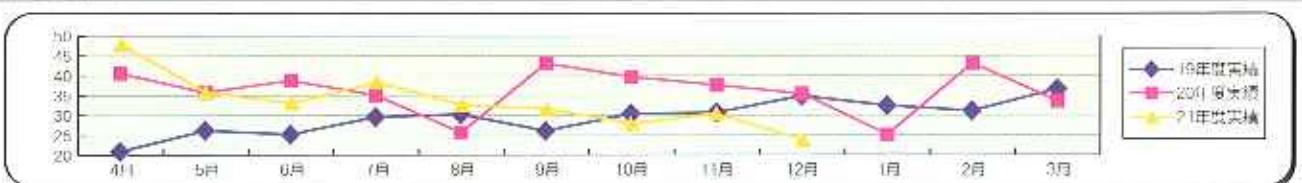
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
19年度実績	20.4	20.0	19.7	18.1	15.8	20.4	17.7	17.1	15.5	16.8	16.3	19.2	17.9
20年度実績	20.1	19.9	18.3	17.7	22.6	17.1	17.9	17.0	15.2	19.3	18.7	18.2	18.4
21年度実績	19.4	20.1	20.0	21.4	16.5	15.9	15.4	18.4	15.4				

## 紹介率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
19年度実績	33.8	40.7	37.5	41.8	32.8	43.1	39.8	51.0	41.6	50.0	51.6	50.5	42.4
20年度実績	44.8	37.9	42.0	38.1	38.6	46.1	37.0	46.2	40.2	39.4	44.3	44.0	41.4
21年度実績	43.4	34.2	37.8	33.6	31.9	30.1	27.5	29.6	32.2				

## 逆紹介率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
19年度実績	20.8	26.1	25.1	29.5	30.2	26.0	30.3	30.6	34.8	32.4	31.1	36.6	29.7
20年度実績	40.5	35.7	38.7	35.0	25.6	43.0	39.6	37.5	35.4	25.1	43.1	33.5	35.7
21年度実績	47.8	35.8	33.0	38.3	32.6	31.6	27.9	30.4	23.7				

## 外来診療担当医表

(受付時間) 月曜日～金曜日

新患/8:30から12:00

再来/8:30から12:00

※急患はこの限りではありません

小児科は午後も診療を行います。

13:00～16:30(月、金)

14:00～16:30(火、水、木)



FAX 0942-94-3137

ホームページ http://www.higashisaga-hosp.jp

《平成22年1月1日》

科 目		月	火	水	木	金
内 科	新 患	貞松 上松 章子	小江 優行	大井 順二	犬山 正仁	千布 節(第1,3,5) 川星佐知子(第2,4) 上松 章子
	呼 吸 器	千布 節	千布 節	小江 優行 犬山 正仁	小江 優行	犬山 正仁 (第2,4)
	消 化 器		大井 順二		大井 順二	
	循 環 器	井星佐知子	貞松 篤	貞松 篤	上松 章子 井星佐知子	井星佐知子 (第1,3,5)
外 科	糖尿病・内分泌	今村 洋一	今村 洋一	今村 洋一	今村 洋一	重本 里美
	消 化 器 外 科	松倉 史朗 下西 智徳	下西 智徳 松倉 史朗	松倉 史朗 下西 智徳	下西 智徳 松倉 史朗	松倉 史朗 下西 智徳
	乳 腺 外 科			下西 智徳 松倉 史朗 (午後1:00～)		
小 兒 科	一 般	午前	荒牧 修一	荒木 則子	宮永 薫	荒牧 修一
	一 般	午 後	久田 直樹	久田 直樹	荒牧 修一	沖 真一郎
	心 身 症		久田 直樹	久田 直樹	荒牧 修一	沖 真一郎
	アレルギー		久田 直樹			久田 直樹
	夜 尿 症				荒牧 修一	
	神 経				金子 美香 (午後1:30～4:00)	
整 形 外 科	一 般	釘木 康孝 高山 剛	釘木 康孝 高山 剛	高山 剛	釘木 康孝	釘木 康孝 高山 剛
	骨粗しょう症	釘木 康孝				
	関 節				釘木 康孝	
	形 成		陣内 卓誠 (午後2:00～5:00)			
放 射 線 科		牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽
内 視 鏡		大井 順二	松倉 史朗	下西 智徳	松倉 史朗	大井 順二
心 工 コ 一			上松 章子	井星佐知子		
眼 科				午後	午後	

●栄養相談は、月曜日～金曜日まで毎日行っています。

●院外からのCT申込は直接、放射線科に連絡ください。(TEL 0942-94-2048 内線249)

●小児アレルギー外来は、小児の喘息、アレルギー性鼻炎やアトピーなどの診察、相談を行っています。

●小児神経外来は、予約制ですので事前に小児科外来へご予約下さい。

●歯科、皮膚科、心療内科は入院のみ行っています。

# 人事異動

personnel changes

## ◆転入者・採用者等

日付	職名	氏名	備考	日付	職名	氏名	備考
H21.8.12	事務助手(非)	松永みさき	採用	H21.10.19	看護師	茅島純子	臨時的任用
H21.9.1	看護助手(非)	前田ゆみ子	採用	H21.11.1	診療部長	富永熏	昇任(小児科医長)
H21.9.3	栄養士	野中千尋	任期付採用	H21.11.1	内科部長	小江俊行	昇任(呼吸器科医長)
H21.9.30	理学療法士	林勝仁	臨時的任用	H21.11.1	看護師	西木理絵	臨時的任用
H21.10.1	副看護部長	民門節夫	配置換	H21.11.2	看護師	松元久美子	採用
H21.10.1	撮影透視主任	園川漸	昇任	H21.11.4	看護師(非)	松永恵理子	採用
H21.10.11	看護師	町田洋介	臨時的任用	H21.12.1	地域医療連携室長	富永熏	併任
H21.10.13	看護師(非)	毛利久美	採用	H21.12.1	研究検査科長	小江俊行	併任

## ◆転出者・退職者

日付	職名	氏名	備考	日付	職名	氏名	備考
H21.8.31	事務助手(非)	城野真由美		H21.10.1	撮影透視主任	八島久徳	配置換
H21.9.30	看護助手	古賀由美子		H21.10.1	看護師	森亜沙美	配置換
H21.10.1	副看護部長	板井靖子	昇任	H21.10.28	調理助手	成尾勝也	
H21.10.1	経理係長	内崎二男	配置換				

## ホームページリニューアルについて

管理課 鳥巣 満千治

当院のホームページを平成21年12月4日にリニューアルいたしました。これにより、各種案内、各部門紹介、病院からのお知らせ等の当院の知りたい情報が見つけやすいものになっておりますので、一度ご覧下さい。

今後もこのホームページを大いに活用頂きますようよろしくお願いします。

当院のホームページアドレス <http://www.higashisaga-hosp.jp>

## 病院アクセスマップ



## 編集後記

新年あけましてあめでとうございます。寒さ厳しい折、皆様にはいかがお過ごしでしょうか？ 九州では久しぶりの大雪が降り、交通機関もかなり停滞したようですが、東佐賀病院は停滞することなく、地域の中核病院としての役割を果たしていかなければ幸いです。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(編集委員長 今村 洋)